

年末・年始の事故防止のお願い

理事長 野田久生、教育遭難対策委員長 伊東春正

■ 事故増加

千葉県連の事故発生件数は、一昨年4件、昨年5件と減少していましたが、今年は13件とコロナ禍前の件数に戻っています。全国連でも同じ傾向となっています。

『登山機会が増えると登山事故も多くなる…』という連鎖を断ち切るため、無理のない登山計画をたて、体調管理をしっかり行って登山しましょう。

■ 転倒事故

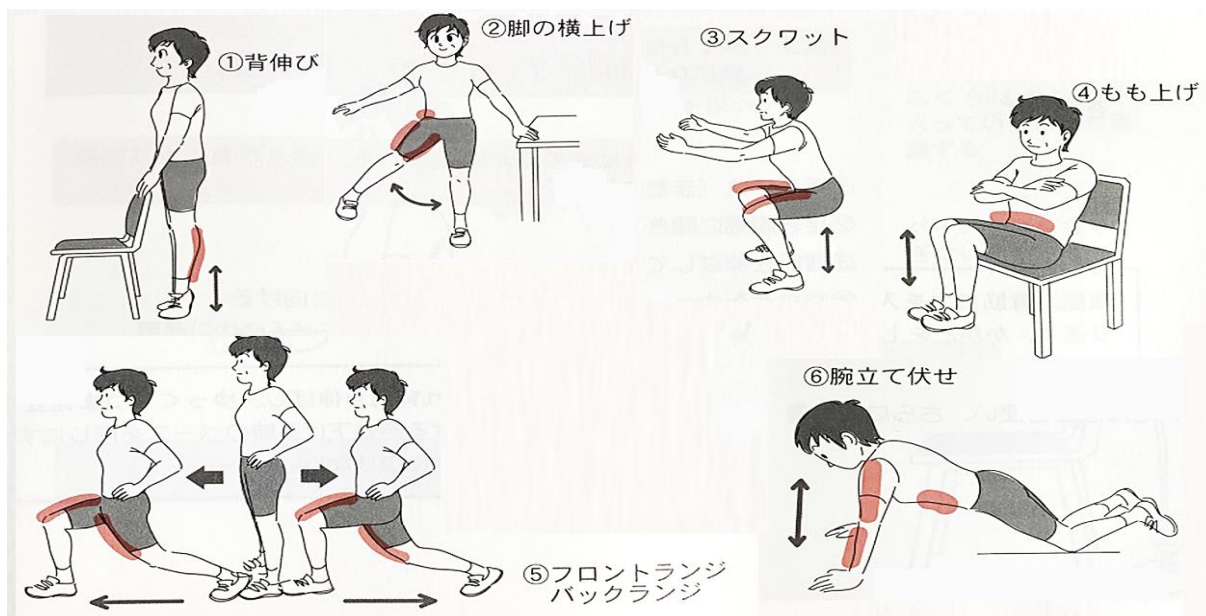
今年の転倒事故は8件と相変わらず多く、健脚者でも、疲れていなくても転倒事故は発生しています。

転倒事故では必ず骨折しており、長期の治療を要します。

第4回オンライン講習会(12/22)の「山には90歳までは登りますよね!」で、講師の石田先生は、次のようにおっしゃっています。

- ・転倒は事故ですか? いいえ、身体機能低下の結果です!
- ・登山での転倒事故予防は『筋トレ』が不可欠です!

みなさん、転倒事故防止を目的にして『山筋ゴーゴー体操』を継続実施しましょう。



■ 雪山事故

千葉県連で今年2月、上州武尊山で雪庇を踏み抜き滑落、救助に向かったリーダー共々一晩ビバークし、翌朝地元救助隊に救助される事故が発生しています。

悪天候の中を強行したことが、事故原因の一つに挙げられています。

『雪山は、晴れば天国、荒れば地獄』ということを肝に銘じ、的確に状況を判断して、決して無理な行動はしないでください。(2022/12/28/Wed.)